

広島県の地震

2024（令和6）年3月

目次

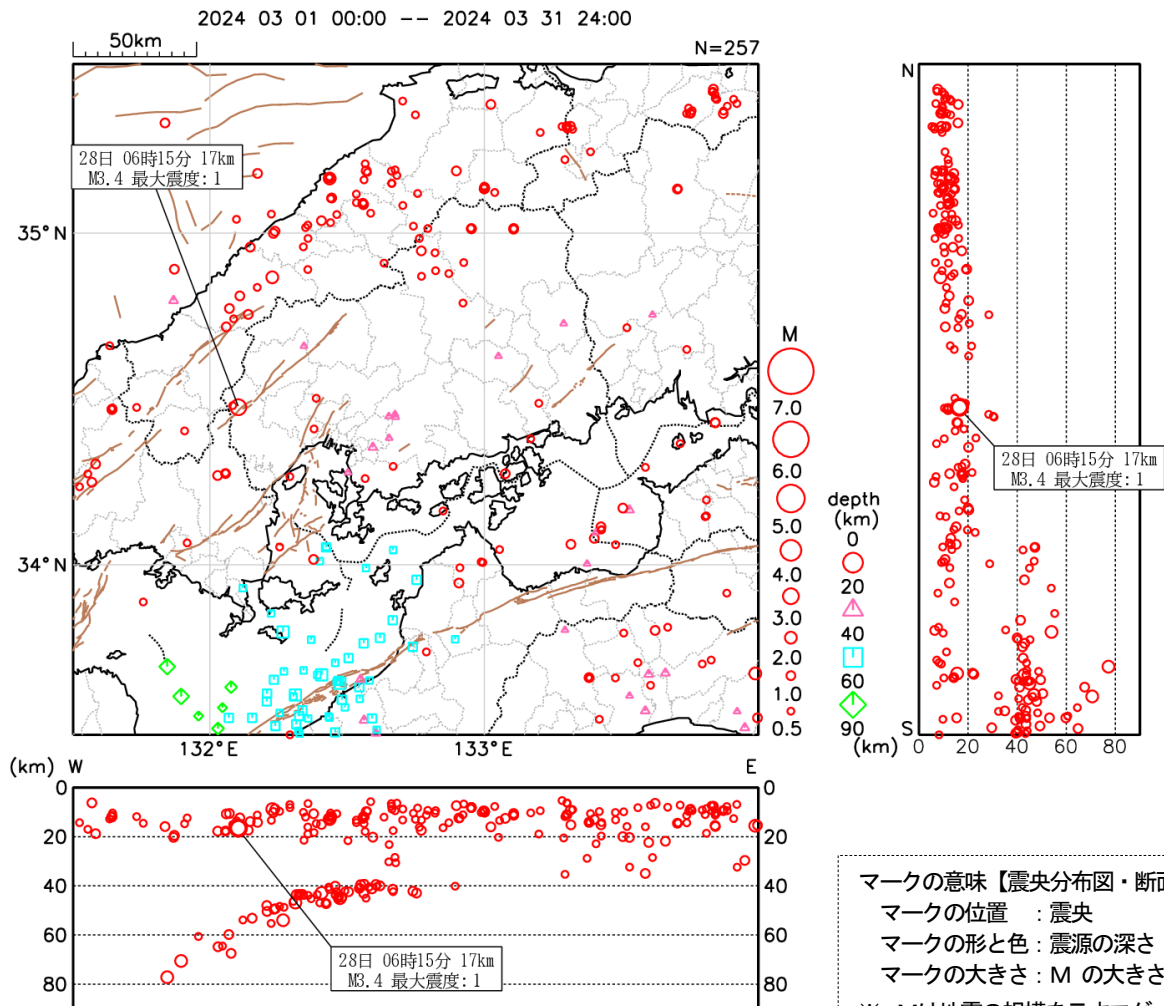
広島県及びその周辺の地震活動……………	1
震央分布図・断面図と地震概況	
広島県における震度1以上の地震……………	2
震度一覧表と震度分布図	
地震メモ 第233回……………	3
地震への備え	
～YouTube ショート動画で素朴な疑問を解説！～	

広島地方気象台

広島県及びその周辺の地震活動

【震央分布図・断面図】

2024年3月1日～3月31日



マークの意味【震央分布図・断面図】

マークの位置 : 震央

マークの形と色 : 震源の深さ

マークの大きさ : M の大きさ

※ Mは地震の規模を示すマグニチュードの略です。

凡例 (depth) 【震央分布図】

○ は深さ 0～20 km未満

△ は深さ 20～40 km未満

□ は深さ 40～60 km未満

◇ は深さ 60～90 km未満

左上：震央分布図 右上：南北断面図 左下：東西断面図

※ 震央分布図とは、震源直上の地表面での位置を表示した図です（震源とは地球内部で岩石破壊が始まった地点で、一般的には深さがあります）。

※ 図中の茶線は地震調査研究推進本部による活断層を表しています。

※ 図の右上の” N ” は図の範囲内における地震の回数です。

【地震概況】

この期間、広島県内で震度1以上を観測した地震は2回でした（先月も2回）。

18日10時58分豊後水道の地震（深さ40km、M3.9、上図の範囲外）により、愛媛県宇和島市・八幡浜市・松野町、高知県宿毛市で震度2を観測したほか、広島県、愛媛県、高知県、山口県、大分県で震度1を観測しました。広島県内では呉市で震度1を観測しました。

28日06時15分広島県南西部の地震（深さ17km、M3.4）により、島根県益田市・邑南町・吉賀町、広島県広島市安佐北区・廿日市市、山口県岩国市で震度1を観測しました。

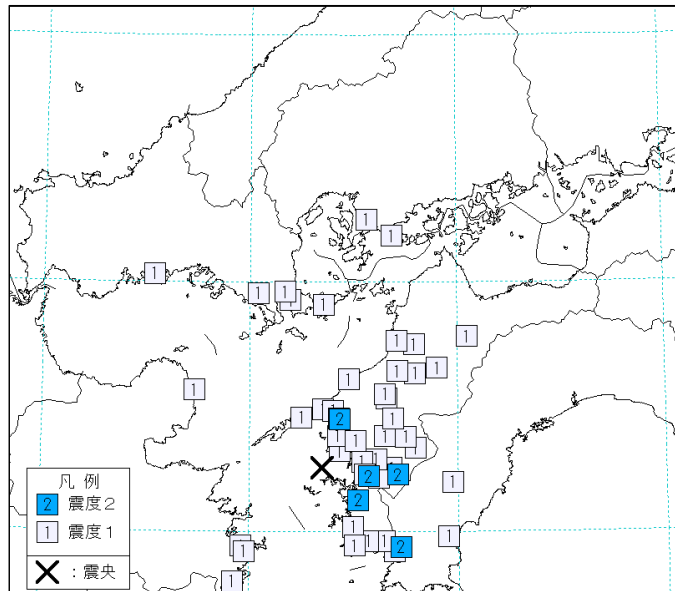
広島県における震度1以上の地震

【震度一覧表】

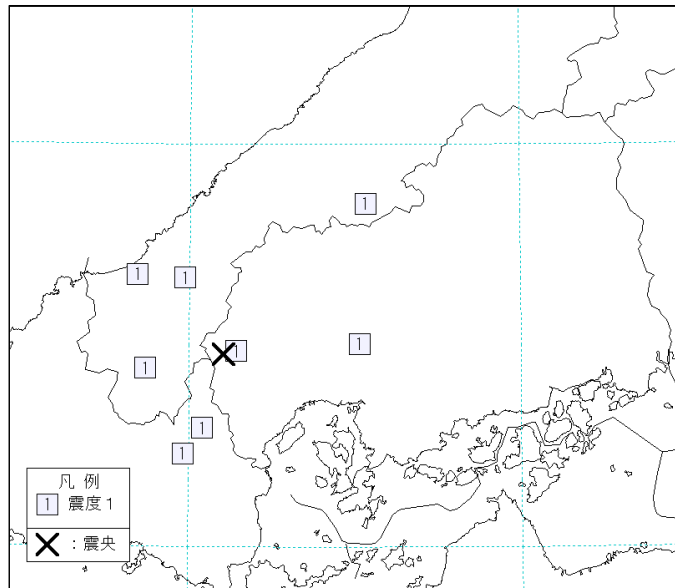
発震時刻（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	M
広島県内の各地の震度					
2024年03月18日10時58分	豊後水道	33° 15.3' N	132° 21.0' E	40km	M3.9
————— 地点震度 —————					
広島県 震度 1： 呉市二河町*、呉市下蒲刈町*					
2024年03月28日06時15分	広島県南西部	34° 28.5' N	132° 06.2' E	17km	M3.4
————— 地点震度 —————					
広島県 震度 1： 広島安佐北区可部南*、廿日市市吉和*					

注) 震度の地名に*印を付したものは、広島県または防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。

【震度分布図】



2024年03月18日10時58分 豊後水道の地震の観測点震度分布図



2024年03月28日06時15分 広島県南西部の地震の観測点震度分布図

2024年1月1日16時10分、能登半島で最大震度7の地震が発生し、気象庁はその約2時間後に「令和6年能登半島地震」と地震の名称を定めました。規模の大きな地震や顕著な被害が発生したときに名称を定めることで、申請書類や資料の作成など災害発生後の応急・復旧活動の円滑化を図り、また、経験や貴重な教訓を後世に伝承することを期待するものです。近年の地震災害では年代が新しい順に「平成30年北海道胆振東部地震」「平成28年(2016年)熊本地震」「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」と、いずれも日本の災害史に残るものです。

◆ 地震への備え

日本に住む限りどこにいても地震災害に遭遇するリスクは否めません。いつ、どこで、どの程度の地震が発生するかの3つを地震の予知とすると、現在の科学的知見からは、そのような確度の高い地震の予測は難しいと考えられています。何の前触れもなく突然地震が起きると認識することはとても重要なことで、それを前提とした地震対策にも繋がります。

地震発生時には、まずは強い揺れによる転倒や頭上に落ちてくる物から身を守ることで、大怪我をすると救助が必要となり、また周りの人を助けることも難しくなります。海岸付近にいるときは津波の襲来に備え、すぐに高い場所に避難することです。咄嗟にできないことも多いですが、訓練等の機会があればぜひ参加いただき、シミュレーションをしておくことをお勧めします。

また、非常に有効な地震対策として、家具・家電の固定や防火対策、そして家屋の耐震化があります。令和6年能登半島地震による犠牲者の大多数が家屋の倒壊によるものでした。耐震化は費用がかかりますが、まずは地元自治体へ耐震診断について相談してみてもいいでしょうか。

◆ YouTube のショート動画による解説

気象庁では地震や津波の発生時に防災情報を流し、皆様に注意や警戒をお知らせしていますが、情報を正しく有効に使っていただけるよう、地震や津波の基礎的な知識を知ることとも情報を理解する上で大切なことと考えています。

気象庁ではこれまでさまざまな動画を公開してきましたが、新たに YouTube のショート動画を作成し知識の普及を図ります。人には聞きにくかったことなど、素朴な疑問に気象庁の職員がやさしく解説しますので、ぜひ、ご視聴いただければと思います。



動画はこちらから

⇒ <https://www.youtube.com/@user-be81s4sy1h/shorts>



はれるんは、
誕生20周年を
迎えます

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

なお、本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。

広島県の地震に関する問い合わせ先

〒730 - 0012

広島市中区上八丁堀 6 - 30 広島合同庁舎 4 号館 14 階
広島地方気象台 防災管理官室 TEL : 082 - 223 - 3965